

ユニセフ緊急募金 活動報告

ベネズエラ地震 緊急支援



公益財団法人 日本ユニセフ協会

0120-88-1052 (平日9:00~17:00) www.unicef.or.jp

2026年7月



© UNICEF/UN0892712/Paz

みなさまのご支援に支えられて——

命を守る保健・医療から学びの再開まで

ユニセフは、子どもたちの日常を取り戻すための支援を拡大しています

2026年6月24日に発生したベネズエラ地震。1か月を経た時点で、死者数は5,390人を超え、負傷者数は16,700人以上にのぼっています。1,400回を超える余震が続くなか、約23,100人が避難生活を送っており、子どもたちは、安全な水や医療、栄養、学びの機会を失うだけでなく、不安やストレスにもさらされています。

皆さまからのご支援のもとユニセフは、被災地において子ども16万9,000人を含む約47万人を対象に保健、栄養、水と衛生、教育、子どもの保護など幅広い分野での緊急支援を実施しています。さらに、子どもたちが再び安心して学び、成長できる環境を取り戻すための支援も進めています。

活動ハイライト

2026年7月24日時点
Humanitarian Situation Report等より

①保健

移動診療・保健チームが避難所へ

地震の影響で医療機関へのアクセスが難しくなっているため、移動診療チームや予防接種チームを避難所や被災地域へ派遣しています。すでに21,000人以上に予防接種を届け、はしかや破傷風など感染症の予防に取り組んでいます。

被害の大きかったラ・グアイラ州
予防接種を受ける11歳の女の子
©UNICEF/UN0892614/Lopez



②栄養

「授乳コーナー」も

命を守る支援

避難生活では乳幼児の栄養不良リスクが高まるため、乳幼児もや妊産婦を対象に栄養不良予防や栄養指導を実施しています。母乳育児を続けられるように、避難所内に「授乳コーナー」を設置、母親が相談できる場も整備しています。さらに世界食糧計画（WFP）と連携し、幼い子どもに向けた食事の支援も実施しています。

③水と衛生

病気を予防し「尊厳のある生活」を支える

避難所では、安全な水やトイレの不足が感染症の蔓延につながります。ユニセフは、1日8万ℓの給水をはじめ、仮設トイレ、シャワー、手洗い設備の設置を進めています。衛生的な生活環境を維持することは、病気の予防に加え、人としての尊厳を守ることにもつながります。また、政府等と連携し、水道の被害調査や復旧計画も進めています。

©UNICEF/UN0889147/Paz



⑤教育

9月の新学期を目指して

首都カラカスでは約3分の1の学校が被害を受けたと報告され、また多くの学校が避難所として使用されています。被害状況を調査するとともに、9月の新学期に向けて、子どもたちが再び安全に学べる環境づくりを進めています。また、子どもの心理的ケアに関わる教員研修も実施されています。

©UNICEF/UN0882751/Paz



④子どもの保護

遊び場が「心を守る場所」になる

地震で大きなショックを受けた子どもたちのために、避難所内に『子どもにやさしい空間』を設置しています。ここでは遊びやレクリエーション活動を通じて、子どもたちが安心して過ごせる環境を提供しています。

また、地方自治体を支援し、保護を必要とする子どもを迅速に特定し、支援できる体制づくりも進めています。



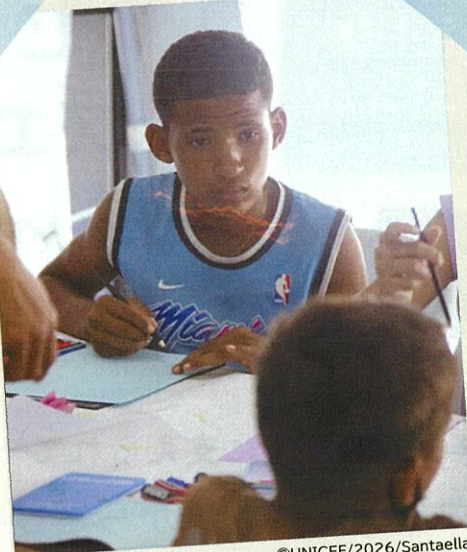
ユニセフの支援する「子どもにやさしい空間」のひとつ ©UNICEF/UN0889613/Paz

支援の現場から



ユニセフ・ベネズエラ事務所代表
マヌエル・ロドリゲス・プマロール
が、ユニセフが現地で取り組んで
いるさまざまな活動を映像で報
告しています。

<https://unicef.jp/4fQ3iHa>



©UNICEF/2026/Santaella

「リアル・マドリッドとメッシが好きなんだ」

こう話す13歳のジェレミアスは、地震で家を失い、家族とともに避難所で暮らしています。学校も被害を受け、これまでの日常は大きく変わりました。現在はユニセフが支援する「子どもにやさしいスペース」に毎日通い、スポーツや絵を描く活動を楽しんでいます。母親のディオニシスさんは、「子どもたちは時々、地震を思い出して泣き出します。でもここでは遊びや絵を通して気持ちを表現することができます」と語ります。自閉症のあるジェレミアスは、病院に通えなくなるという新たな困難にも直面しています。困難な状況が続くなかで、ユニセフは、少しでも子どもたちが安心して過ごし、心の傷を癒やしていける環境づくりを支えています。

Thank You

ご支援ありがとうございます。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



ユニセフは、世界の子どもを守る国連機関です。



©UNICEF/NYHQ2009-1753/Markisz ©UNICEF/NYHQ2011-1305/Njuguna
©UNICEF/UKLA2013-04463/Maitem ©UNICEF/MLIA2012-01174/©UNICEF/NYHQ2009-1939/Nesbitt

ユニセフ(国際連合児童基金)とユニセフ協会(国内委員会)は、約190の国と地域で、子どもたちの命と健康、権利を守るために活動しています。活動資金はすべて、個人、企業、法人・団体のみなさまからの民間募金、各国政府からの任意の拠出金に支えられています。



最新情報やご支援について
日本ユニセフ協会のホーム
ページをご参照ください。
www.unicef.or.jp

